



地域子育て支援だより

2022年度 2月号 久宝まぶねこども園

TEL (072) 992-2033

寒さが一段と増し、冷たい風に頬や鼻を赤らめながらも子どもたちは元気いっぱい遊んでいます。新型コロナウイルス感染症については、今後、名称や5類に変更する等の報道がありますが、インフルエンザ等の感染症と同様に、感染予防・対策に努めていきたいと思えます。継続して、地域開放のプログラムは中止していますが、2023年度の入園準備としての園見学は実施していますので、園見学を希望される方は園までお問い合わせください。

園庭開放・親子教室のご案内

※今後の感染状況により、再開が決まりましたら子育て支援だよりにてお知らせします。
 ※ホームページに子育て支援だよりや給食だより、献立表を掲載しています。

楽しいあそびが体と心を発達させる

【発達の目安】

運動機能の発達について

子どもたちは日々、全身を使ってさまざまなチャレンジを続ける中で、運動機能や手指の機能、そして社会性などを発達させていきます。安全にしっかり気を配りながら、「危ない!」「ダメ!」と、子どもの挑戦を制止しすぎないことが大切です。また、子どもの発達には個人差があります。〇歳なのにこれができる・できない、ということに着目しすぎないことも大事です。

0歳	寝返り～おすわり～はいはい～つかまり立ち～伝い歩き
1歳	歩き始める
2歳	走るようになる
3歳	ふらんこ、三輪車、ボールあそびなどをするようになる
4歳	友達とあそんだり、遊具を使ったあそびを楽しんだりする
5歳	おにごっこ、かくれんぼなど、集団であそぶようになる

イヤイヤ期は終わります

子どもの頭の中で起こっていること

脳科学的に見ると、イヤイヤ期は脳の前頭前野の未発達が原因です。前頭前野は、自分やほかの人の「心」などをイメージするところ。イヤイヤ期の子どもは、自分と他人の区別はついていても、まだ自分の心と相手の心の区別ができません。しかし前頭前野の発達が進む4歳ごろには、「みんなが待っているから順番を守る」というように、自分とは違う相手の心に気づけるようになっていくのです。

自分の心 = 相手の心

なんでわたしがやりたいのに
 とうとうするの？

